

音楽専攻科における教員養成の理念等

■音楽専攻科 声楽専攻・器楽専攻 (中専免(音楽)、高専免(音楽))

教員養成の理念

声楽及び器楽の専門性を高め、世界でも活躍し得るさらに高い芸術性と高度な表現力を備えた人材を養成する。

教員養成の教育においては、楽書講読、作品研究、楽曲分析等の音楽理論科目を通して音楽を多角的に考察し専門知識を深め、声楽、器楽の実技を伴う科目で、より高度な技能を修得し、人間性あふれる豊かな感性と個性、美的感覚を有する教育者を育成する。

教員養成の到達目標

- ① 中高教科「音楽」を教授するに要する幅広い知識、高度な技能を理論科目や各専攻実技科目から修得する。
- ② 中高教科「音楽」の内容及び教材の研究・開発に関連付けて、より主体的に創造的に探究する。

【注】令和7年度の在籍者はいないが、音楽専攻科の教員養成の理念等については掲載しておく